



## 今年のご当地マスクマンが初登場！ チャリティープロレス鳩山大会

1月27日、町中央公民館で「全日本プロレスまちおこしスペシャル チャリティー鳩山町大会」が行われ、会場は町内外から400人以上の来場者でにぎわいました。

この大会は、まちおこしの一環として同大会実行委員会が企画したもので、平成27年から開催され、今年で3年目となります。今年は、ご当地マスクマン「エル・イホ・デル・鳩山」が初登場し、会場には「鳩山！鳩山！」のコールが響き渡る場面もありました。

このイベントは、収益の一部が町社会福祉協議会に寄付されるほか、「はーとん」とのふれあいや町の特産品販売を通じ、県内外からも多く訪れる来場者に鳩山町をPRする場ともなっています。

この大会の中心選手である「まじろ」選手は、「毎年楽しみにしている皆さんの期待に今後も応えたい」と、リング上で来年の開催を宣言していました。



動画もチェック！

広報はとやま動画チャンネル

検索

## 町内外の剣士が腕を競う 第27回鳩山町少年剣道大会

今年、小学生低学年の部で、鈴木選手(写真右)が優勝しました！



1月21日、町民体育館剣道場で「第27回鳩山町少年剣道大会」が開催され、坂戸市・越生町からの招待選手らと交え、少年剣士たちが腕を競い合いました。

大会は、鳩山剣友会による演武が披露された後、各部(小学生低学年・高学年・中学生女子・男子)ごとに競技が行われました。各選手が気合いの言葉とともに「一本」を取ると、会場でははどよめきの声が響いていました。

なお、鳩山町から出場した選手の入賞結果は次のとおりです。

【小学生低学年の部】鈴木 心士さん(3年生)優勝  
安田 幸司さん(3年生)第3位

【小学生高学年の部】福島 睦己さん(5年生)第3位  
【中学生男子の部】宇田川 海斗さん(2年生)第3位

## 日本宇宙少年団鳩山分団プレイベント 衛星模型づくりと観測会



人工衛星「だいち2号」の模型キットを組み立てる子どもたち

鳩山町では、宇宙のまち「夢づくり」事業の一環で、日本宇宙少年団鳩山分団を3月18日に設立します。そのプレイベントの第3弾として、1月27日、多世代活動交流センターで「衛星模型づくり&国際宇宙ステーション観測会」が行われました。

イベントに参加した子どもたちは、人工衛星の役割などを学んだ後、模型づくりに挑戦。組み立てに悪戦苦闘しながらも、大人たちのアドバイスを受け、精巧な模型を完成させました。この日は、国際宇宙ステーションが鳩山町上空を通過することから、その姿を夕空に見つける観測会も行われ、空を横切る約5分間の光景に、宇宙への思いをはせました。

入団希望者を随時受け付けています。お問い合わせは役場政策財政課(☎296-1212)まで。



このページでは、皆さんのコミュニティ活動や各種協議会・委員会などの活動に関連する記事や、皆さんからお寄せいただいた情報を掲載します。

◆情報は、掲載希望月の前々月末日までに、役場政策財政課 広報広聴担当(☎350-0392 鳩山町大字大豆戸184-16・TEL296-1212・FAX296-2594・Eメール webmaster@town.hatoyama.lg.jp)にお寄せください。

まちレポ



▶ 出店者紹介

▶ パフェ型小物づくり



▶ 営業許可取得の経験談



## 製造・販売までのアドバイスも 「カフェ&スイーツマルシェ」

2月12日、鳩山町コミュニティ・マルシェで「カフェ&スイーツマルシェ」が開催され、会場には多くの人が集まりました。

当日は、スイーツ類や軽食・パンなどの販売のほか、出店者の紹介、キーホルダーづくりなどのワークショップ、バンド演奏も行われました。また、今後飲食物を販売したい人の参考になるよう、菓子製造業の営業許可取得までの経験談を聞く時間もありました。

鳩山町コミュニティ・マルシェでは、4月22日(日)に「健康&美容マルシェ」を開催するなど、今後も多彩なイベントを計画しています。どうぞお楽しみに！

4月からキッチン設備が整う「まちおこしカフェ」の運営者を募集中!! 相談会を3月に行います! 詳細は12ページをご覧ください。

## こどもの居場所づくり×多世代活躍の場へ向け 「はとやまこどもマルシェ」も開催

こどもの居場所づくりなどにつなげようと、1月21日、鳩山町コミュニティ・マルシェで「はとやまこどもマルシェ」が開催され、ワークショップ満載の会場には、子どもたちを中心に多くの来場者が訪れました。

このイベントは、彩の国さいたま人づくり広域連合とマルシェ指定管理者が主催したもので、「持続可能な郊外住環境実現プロジェクト」として企画。関係者は「児童館のような、子どもたちが気軽に集まり、遊んだり、勉強したりする場の創出につなげられたらいい」と話していました。

会場では、各種ものづくり、プログラミングによるゲームやレクリエーション吹き矢を体験するコーナー、大学生による学習支援コーナーなどのほか、飲食を楽しめるコーナーもあり、来場者は思い思いに楽しんでいました。各コーナーで講師を務めたのは、地元で活動する大人たち。さらに、町内在住の大学生や県立鳩山高等学校の生徒もイベント運営を手伝うなど、若い世代の力も集まったイベントとなりました。



動画もチェック!

「広報はとやま動画チャンネル」で検索!

